



☆ 予告なし 避難訓練 を行いました！

自分で正しい判断を！

1月21日 (火)

学校では、学期に1回以上、様々な事態を考えて避難訓練を行っています。通常は、時間と目的をはっきりとさせ、事前の指導と事後指導を行うような避難訓練を実施しています。1学期は、不審者が校内に侵入した事案、2学期は、地震と火事を想定した避難訓練を行っています。

今回は、普段から非常事態にきちんと対応できるように、子供たちには何も知らせずに、火災対応の避難訓練を行いました。

実施は、子供たちがリラックスしている業間休みの中間で、火災報知器を鳴らし、家庭科室からの出火を想定した形で行いました。

休み時間ではありましたが、非常ベルに反応し、運動場で遊んでいた子供たちは、集合場所へ移動、一輪車で遊んでいた

子供たちも一輪車は、その場において避難、廊下にいる子供たちは、火元から離れた出口から避難、教室で過ごしていた子供たちは、先生の指示に従って避難をすることができました。

火災報知器が鳴ってから、6分以内で全員の避難が完了し、予想していたよりも、スムーズな避難ができました。学校の設備上の問題になりますが、場所によっては、放送が聞こえにくいところもあり、課題が見つかったのかなと思います。今後、反省点を洗い出し、対策を検討し、常に、安心安全な学校であるようにしたいと思います。



☆ 合同あいさつ運動！ 1月20日 (月) 21日 (火)

1月20日と21日の二日間、基山中学校の1、2年生12～3名が、朝のあいさつ運動に参加し、1年生、6年生と合同のあいさつ運動を行いました。合同あいさつ運動は、小中学校一貫教育の取組の一つで、2学期は、合同校内クリーン活動も行っています。

中学生の方からの元気なあいさつに、負けじと大きな声であいさつをする子供もいましたが、全体的に、中学生の声の出し方が明るく、特に6年生にも良い刺激となったようです。

先輩方のふるまいに、確かな成長を見ることができました。参加してくれた中学生の皆さん、元気なあいさつありがとうございました。



☆ 商工会青年部のみなさんのあいさつ運動！

ありがとうございました！ 1月24日（金）

1月24日（金）に基山町商工会青年部の皆さんのあいさつ運動がおこなわれました。

子供たちの登校時間に合わせて、8時過ぎまで校門前で大きな声であいさつをしていただきました。オレンジ色のジャンパーが目印なので、子供たちも顔を上げて、明るい声であいさつを交わしていました。

青年部の皆さんは、登校の様子や運動場や校舎前で遊ぶ姿を見て、子供たちの元気に感心されていました。

これからも、あいさつ運動を機会に地域でのつながりを大切にしていければと思います。



☆ 若基小スタンダード は 若基小の 宝

1月22日（水）の全校朝会で、いつものように漢字を使った話ではなく『若基小スタンダード』についてお話をしました。今年から、『若基小スタンダード』という言葉を使って、学習面や生活面の指導を行ってきましたが、今回はそのことを振り返ってみました。

英語で「スタンダード」とは、標準とか基準、道徳的な規範などの意味がありますが、子供たちには、もっとわかりやすくするために、『当たり前のできること（できていること）』として話をしています。学校の中で、決まりややるべき行動に対していろいろな取組をしてきましたが、その中でも、みんなが当たり前のできることを『若基小スタンダード』として認めて、続けていこうとしています。

子供たちに当たり前で『できていること』『やれていること』を尋ねたところ、

☆『チャイム着席』 授業開始のチャイムがなる前には席に着く

☆『無言入場』 朝会や集会の時の入場は無言で行う

☆『靴箱の靴』 靴はかかとをそろえて入れる

この三つは、当たり前のできるようになってきているとのことでした。

我々から見ても、ほぼできるようになっています。この三つは、『若基小スタンダード』と呼べるようです。

このように、学校生活の中でのふさわしいふるまひは、この若基小の特徴で「宝」であると思います。これからもぶれることなく、伝統として繋げられればと思います。

また、子供たちの中では、あと少しなのが、『トイレのスリッパ』と『無言掃除』と『身なり』のようです。当たり前のできるようになるためには、もう少し全校みんなの意識が高まらなければいけません。

残りの2ヶ月、もう少しの行動が『若基小スタンダード』と呼べるレベルになるよう、みんなでがんばります。

☆ 入賞おめでとうございます！

冬休みに取り組んだ読書感想文の鳥栖・基山地区審査会が行われましたので、結果をお知らせします。

☆自由課題 入選

2年1組 杉原 こうき さん 「たびするおやま」を読んで